

アンケート結果（保護者）

		□ 良好	■ おおむね良好	▨ やや不十分	□ 不十分	
子どもの姿	1	子どもたちは、楽しく学校に行っている。	48	47	3	0
	2	子どもたちは、まじめに勉強に励んでいる。	32	56	12	0
	3	子どもたちは、あいさつをよくしている。	15	48	35	3
	4	子どもたちは、友だちと仲良く生活している。	35	58	6	1
	5	子どもたちは、先生を信頼している。	36	52	11	2
教師の姿	6	教師は、わかりやすく授業を工夫している。	29	63	7	0
	7	教師は、TT(ティームティーチング)によって、きめ細かな指導をしている。	27	66	7	0
	8	教師は、子どものことについて気軽に相談にのったり、連絡をよくしたりしている。	25	53	22	1
	9	教師は、保護者に行事や学習の様子をよく知らせている。	32	52	15	1
	10	教師は、生活面や行動面も熱心に指導している。	27	59	13	2
家庭の姿	11	保護者は、家庭で子どもと学校での出来事などについて、よく話している。	24	59	16	1
	12	保護者は、学校からのお便り(学校・学年・学級通信など)に、よく目を通している。	36	51	12	1
	13	保護者は、授業参観や学級懇談会、PTA行事等によく参加している。	21	47	27	6
	14	家庭での約束事(早寝・早起き・朝ご飯、手伝い、テレビ・ゲームの時間など)を決め、よく守らせている。	13	48	35	3
学校の姿	15	学校は、学力向上に努力している。	25	65	10	0
	16	学校は、読書活動の推進に努力している。	33	54	13	0
	17	学校は、総合的な学習(企業見学や施設訪問等)や生活科などで体験活動を充実させている。	27	58	13	2
	18	学校は、心の教育や命の大切さなどを熱心に指導している。	27	57	14	1
	19	学校は、子どもたちの安全面について細かく配慮している。	24	66	9	1
	20	学校は、心と体の健康教育や病気の予防に努力している。	25	66	9	0
	21	学校は、学校のことを知らせ、保護者や地域の人と交流するなど開かれた学校運営をしている。	22	66	11	1
	22	学校は、電話したり訪問したりしたとき、丁寧に対応している。	35	57	7	1

◇良好及びおおむね良好までのポイントが85%を超えているもので特によい項目

- ◎ 楽しく学校に行っている ◎ 友達と仲良く生活している ◎ 授業の工夫
 ◎ 学力向上への取り組み ◎ 安全面への配慮 ◎ 健康教育 ◎ 電話等での対応 等
 ※ これらの項目は更に向上をめざし取り組んでいきます。

◇良好及びおおむね良好までのポイントが85%以下今後の取組

- 子どもたちのあいさつ・・・全保護者による「あいさつ運動」を展開する。
- 教師の相談体制等・・・子どもとの心の距離を近づける。
- 子どもについての連絡・・・小さな出来事でも連絡を行い連携を深める。
- 心の教育・命の大切さ・・・学校教育の重点目標として今後も推進していく。

アンケート結果（児童）

		■よくあてはまる	■大体あてはまる	□あまりあてはまらない	□全くあてはまらない
自分のこと	1 学校に来るのが楽しい。	46	41	8	5
	2 学校でまじめに勉強している。	38	50	9	3
	3 あいさつをよくしている。	33	45	19	3
	4 友達と仲良く生活している。	67	30	3	0
	5 先生の言うことを守っている。	38	50	10	2
先生のこと	6 先生は、分かりやすく勉強を教えてくれる。	67	28	3	0
	7 数人の先生で、小さいことまで優しく教えてくれると思う。	59	33	8	1
	8 先生は、悩みの相談にのってくれる。	51	32	11	6
	9 先生は、行事や学習のことをお便りでよく知らせてくれる。	63	31	6	0
	10 先生は、生活のことを熱心に指導してくれる。	62	30	7	1
家でのこと	11 家では、学校のことを、家族でよく話している。	43	35	17	6
	12 家の人は、学校からのお便りをよく読んでいます。	74	19	6	1
	13 家の人は、授業参観やPTAの行事によく来てくれる。	44	32	18	6
	14 早寝、早起き、朝ご飯、手伝い、テレビやゲームの時間など、よく守っている。	33	42	16	10

グラフから読み取れること

○ 「子どもの姿」の問1、2、5は、保護者と子どもの意識はほとんど変わりがなかった。

○ 「あいさつ」に関する項目は、もっと努力をしなければならないことを読み取ることができる。あいさつ運動をしているとき、特に低学年の児童は、体が小さいので声も低い。口が動いているのかをよく見ていると、ほとんどの子どもたちが動かしている。そういった意味では、子どもの判断も間違っていないようである。

○ 「教師の姿」では、保護者・児童ともに「良好」「おおむね良好」「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」までを見るとほとんど変わりが無い。特に低いのが「連携・相談」の項目である。これは、学校側も指摘されたことを大いに反省をし、改善に向けての努力をしなければならない。

○ 「家庭の姿」の項目では、保護者自身が厳しく評価をされているのではないかと思うほどであった。特に、家庭での約束事では不十分の割合が高いのが気になる。

○ 忙しくなってきたせいか、家族で話す機会が減ったり、約束が守れなかったりと、子どもたち自身も正直に見つめていることが分かる。